



ダフニーアルファサーモ22A

～合成系熱媒体油～

抜群の酸化安定性を示し、スラッジの生成が少ない開放・半密閉・密閉型加熱システム用の合成熱媒体油です。

1. 用途

エンジニアリングプラスチック用射出成型機の金型温度調節機のような高温で使用される場合や、長期間メンテナンスフリーで使用される開放系など、開放・半密閉・密閉型いずれの装置でも使用できます。

適用温度範囲(バルク油温) 0～220℃。

2. 特長

- (1) 酸化安定性が抜群に優れるため、更油間隔の大幅な延長が出来ます。又、更油時に金型や配管の洗浄不要による稼働率のアップ、省力化が計れます。(但し、極端に劣化するまで使用した場合は更油時にフラッシングが必要となります。)
- (2) 沸点・引火点が高いため、蒸発や引火・爆発の危険性が低くなります。(第四類第4石油類に該当)
- (3) 粘度が低く、流動点が低いため、熱伝達特性・起動性に優れます。
- (4) 臭気がほとんど無く、また沸点が高いため、臭いや油煙による環境汚染がほとんどありません。

3. 性状

項目	分析値
密度 @ 15℃ g/cm ³	0.8334
色相 (ASTM)	L1.0
引火点 (COC) °C	218
動粘度 @ 40℃ mm ² /s	20.06
@ 100℃ mm ² /s	4.123
粘度指数	106
流動点 °C	-60.0>
酸価 mgKOH/g	0.26
泡立ち ml	泡立ち度/泡安定度
@ 24℃	10以下/0
@ 93℃	10以下/0

4. 熱 恒 数

物 性 温度 °C	密 度 kg/m ³	比 熱 kJ/kg・°C	粘 度 mPa・s	熱伝導率 kJ/m・hr・°C	蒸気圧 Pa
0	841	1.85	134.3	0.608	—
50	813	2.03	11.5	0.591	—
100	785	2.22	3.21	0.575	0.33
150	757	2.40	1.48	0.558	22
200	728	2.59	0.874	0.542	400
250	700	2.77	0.596	0.526	3200

5. 酸 化 安 定 性

(1) インディアナ酸化安定度試験

条 件 : 温 度 : 170°C

空 気 吹 込 量 : 10 公 升 / h r

触 媒 : 銅, 鉄 板

試験 時間 hr	項 目	ダフニールファ サーモ 22A	比較油 A	比較油 B
新 油	動粘度 @40 mm ² /s	20.19	28.33	23.27
	酸価 mgKOH/g	0.27	0.13	4.0
4 8	動粘度 @40 mm ² /s	20.53	41.22	28.44
	新油との比	1.02	1.43	1.22
	酸価 mgKOH/g	0.28	4.85	5.18
	nペンタン不溶解分 %	0.01 以下	0.82	0.08
9 6	動粘度 @40 mm ² /s	21.49	38.05	33.80
	新油との比	1.06	1.25	1.45
	酸価 mgKOH/g	0.31	6.29	7.36
	nペンタン不溶解分 %	0.01	1.92	0.22
1 4 4	動粘度 @40 mm ² /s	21.95	—	45.39
	新油との比	1.09	—	1.95
	酸価 mgKOH/g	0.44	—	9.44
	nペンタン不溶解分 %	0.05	—	3.53

(2) パネルコーキング試験

300℃に加熱したアルミニウムのパネルにサンプルを間欠的にはねかけ、一定時間後にパネルに付着した炭化物の量を測定する。

条 件 : パネル温度 : 300℃
油 温 : 130℃
スプラッシュ時間 : 15秒
停止時間 : 60秒

炭化物付着量 (mg)

試験時間 hr	ダフニールファ サーモ 22A	比較油 A	比較油 B
3	7.8	116	51.8
6	15.0	—	—
12	28.0	—	—

- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(SDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ(<https://www.idss.co.jp/business/lube/>)からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL:03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <https://www.idss.co.jp/business/lube/> から‘お問い合わせ事例のご紹介’まで